

タリタ・クム！ 起きなさい！

発行：SIGNIS JAPAN（カトリックメディア協議会）

代表：千葉茂樹

発行所：〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-42

聖パウロ女子修道会内

TEL 03 - 3479 - 3941 E-mail: info@signis-japan.org

http://signis-japan.org/

何百年に一度と言われる大地震、福島原発事故による放射能汚染と「安全神話」の崩壊、いつもより早い異常な連続猛暑の日々、甚大な被害をもたらしたゲリラ豪雨などなど。自然災害や人的災害に木の葉のように揺さぶられた今年の前半でした。人間の無力さと助け合いの力強さとを日々学びながら、後半はぜひ落ち着いた時間に戻ってほしいと祈りをささげて、「タリタ・クム 10月号（ロザリオの月）」をお届けします。

ニュース 第2回 著作権セミナー開催

8月6日に東京・四谷の幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院にて第2回著作権セミナーを開催いたしました。講師にはTBSテレビ編成制作局メディアライツ推進部長の植井理行氏^{うえいまさゆき}においでいただきました。参加者は24名。映像に含まれる権利とHP上で映像や音楽を配信する場合の留意点を詳細にわたって講演していただきました。



著作権セミナー

SNN 開局のお知らせ

SIGNIS JAPAN から生まれた SNN (SIGNIS GOODNEWS NETWORK) が10月8日から試験放送ウェブサイトを開局いたしました (<http://signisgoodnews.tv>)。開設当初は、東日本大震災のルポルタージュとルルドの祈り、千葉茂樹 SIGNIS JAPAN 会長の講演会といったメニューです。まずは小さく産んで、これから皆さまのお力もお借りしながら大きく育てていきたいと思っています。今後、毎月配信していきますので、ぜひ皆さんアクセスしてください。



SNN 開局までの編集会議

アジア会議 2011 へ参加します

今年のシグニス・アジア会議は10月16日から22日にかけて、ネパールのカトマンズで開催されます。SIGNIS JAPAN からは事務局長の町田雅昭氏と会員の林里江子さんが参加します。今年のテーマは「平和の文化の為のメディア：新しい世代と映像を創る」。今年は初めて SAMA 賞（シグニスアジア・メディア賞）の候補にと15分ビデオ部門に林さんが企画・撮影・編集した、東日本大震災後の岩手県釜石市の姿、特にサポートセンターに集まったボランティアたちの姿を追った、「LIGHT OF HOPE - TRUE CHURCH」を応募することにいたしました。会議では日本の活動実績／計画を報告し、かつパネリストにもなる他、大震災と原発事故について簡単に現状と課題を説明する予定です。また、今後3年間にわたって SNN による釜石教会とコミュニティーの復興の姿をフォローする番組企画に対してプロジェクト助成金を申請済みですが、そのパチカンへの推薦可否も通知されます。皆さまからの応援、お祈りをお願いします。

お勧め映画紹介

カーリーナの林檎—チェルノブイリの森—



2011年11月中旬シネ
マート六本木ほか全国順
次ロードショー

<http://kalina-movie.com>
製作・配給：カーリナ
プロジェクト

遠い国の過去の問題だと思っていたチェルノブイリ原発事故から25年。今年3月11日に福島原発事故が起こったことで、原発事故は私たち日本人にとって急に身近な問題になりました。そんなタイミングで公開されている映画が「カーリーナの林檎」です。舞台は、チェルノブイリから10kmしか離れていないホイニキ。ゴーストタウンと化した村で短い夏を過ごす祖母と孫娘・カーリーナの生活から始まります。周囲にいつも遊んでいた友達はおらず、路傍の小石を蹴り上げ、遊びながら唇をかみしめ家に帰ってくるカーリーナに、祖母はそっと「泣き虫アレーシャに戻ったのかい」と声をかけます。「私の名前はカーリーナよ！」祖母のつけた愛称は彼女のお気に入りでした。祖母は、カーリーナの花のようにかわいくて、カーリーナの木のように強い子に育つようにと願ってつけた愛称です。

首都ミンスクの病院で治療中の母親、妻の入院費用をまかなおうと必死に働く父親。そのために一人娘のカーリーナは、病院からほど近い叔母の家に預けられています。しかし叔母も経済的に苦しく、何かと手のかかるカーリーナを負担に感じ、辛く当たってしまいます。夏休みを祖母の家で過ごしたカーリーナが小さな両腕にどっさり持ち帰った自慢の林檎は、その日のうちに屑籠に捨てられてしまいます。今関監督は、「チェルノブイリ周辺を取材し、原発事故の問題のひとつに、バラバラになる家族がある」といいます。これは今、福島原発事故でも起こっている問題です。ていねいな取材によって浮き彫りにされた家族の絆をドキュメンタリー風に撮った物語「カーリーナの林檎」は、本来なら恐ろしいはずの日本で起こっている原発事故の未来を、美しい風景と心温まる民族音楽、かわいらしい少女の目線で取り上げています。



ミニミニ・メディアリテラシー バラの冠 (Rosen Kranz)

ついこの間、「ロザリオの月」に関して原稿を書いたと思っていましたら、もう一年経ったのですね。また10月、「ロザリオの月」を迎えます。5月は「聖母月」、10月は「ロザリオの月」と、カトリック教会は1年の季節の中で最も美しく、もっとも落ち着いたすばらしい季節をそれぞれマリア様に充てていることが分かり、静かな喜びを感じます。聖ドミニコ(1170～1221)が考案し、ドミニコ会士らによって全世界に広がったと伝えられるロザリオ(ラテン語=rosarium)は、救い主イエス・キリストと母マリアの主な喜び・苦しみ・栄えの“秘儀”の黙想を行ないながら、「アヴェ・マリアの祈り」を繰り返し唱えることで、マリアと共にイエス・キリストによる救いの秘儀を思い起こし、父なる神に賛美と感謝をささげる、カトリック者にとってとてもポピュラーな信心業です。ドイツ語では文字通り Rosen Kranz (バラの冠) と呼ばれるロザリオですが、もっともマリア崇敬の高まった13世紀半ばにはマリア様のご像をバラの冠で飾る慣習がありました。これについて、きれいな伝説が残っています。マリア像をバラの花で編んだ冠で飾るという習慣に親しんでいたシトー会のある修道士が幻の中でマリア様と出会い、「アヴェ・マリアの祈りによる霊的なバラの冠、これに迎えられることは私にとって大いなる喜びです」と静かに告げられたというものです。以来、「アヴェ・マリアの祈り」とバラの花は切っても切れないものとなりました。ロザ



リオとよく似ているものに仏教の数珠(じゆず)があります。時々、映画やテレビ、お芝居でロザリオを使いたいからと監督さんや演出家がその使い方を聞きにくることがあります。皆さん、修験道(山岳信仰)の行者である山伏が数珠を「悪鬼退散! 喝!」と怒鳴りながら振りかざす場面を想像するのか、ロザリオも同じように思っているふしがあり、おかしくなります。前者が動であるならば、ロザリオはその正対局の「静」、少し難しく言うと静謐(せいひつ)です。まさにマリア様のご生涯そのものではないでしょうか。

会員紹介

泉 塩子



2002年の秋、所属教会のHP作成メンバーに誘っていただき、その後、当時のシグニスジャパン副会長で主任司祭でいらした晴佐久神父様から、「シグニスの集まり」に出席するようにと言われ、何のことかよく分からないまま、初めて赤坂の女子パウロ会をお訪ねしました。それから10年近くが経とうとしています。メディアの専門家でもない私が、なぜこのようなことに関わっているのか、実は今も不思議ですが、カトリック映画賞、インターネットセミナー、アジア会議など、さまざまな場面で多くの人たちとの出会いがあり、自分が苦手としていた、人と共に活動する喜びが与えられました。世界の各地でメディアを通じた福音宣教に取り組んでいる仲間を意識できるのは、とても心強いことです。これからもシグニスの使命である「平和の文化」を伝えるために、ネットワークを拡げて行かれたらとてもうれしいですし、その中に次々に見えてくる新しい世界を楽しみにしています。(高幡教会所属)

SIGNIS JAPAN とは

SIGNIS とは、世界 140 カ国に広がるカトリックのメディアに携わる人々の世界組織です。平和文化の促進、人間の尊厳擁護。子どもの権利擁護が近年のテーマです。司祭、修道者、一般信徒が参加しています。映画、放送、視聴覚、最近ではインターネットを活用した福音宣教に力を入れています。日本では、サンパウロ、女子パウロ会、カトリック中央協議会・広報のほか、ボランティアの信徒が積極的に活動しています。カトリック映画賞、インターネットセミナーのほか、これからはインターネット放送局(SNN)への取り組みなど、さらに活動の幅を広げていきたいと考えています。



賛助会員になってください!

私たち SIGNIS JAPAN の活動をサポートしてくれる賛助会員を募集しています。年会費は一口 3000 円。ご入会いただける方は、氏名、住所、連絡先を下記にお知らせください。年会費およびご寄付は、銀行口座または郵便振替口座にお振込をお願いいたします。

銀行振込 三菱東京 UFJ 銀行 六本木支店
普通 1679019

SIGNIS JAPAN 代表 千葉茂樹
郵便振替 口座番号 00100-0-594547
口座名称 SIGNIS JAPAN
代表者 千葉茂樹

連絡先: 〒107-0052 東京都港区赤坂 8-12-42

女子パウロ会内 SIGNIS JAPAN

info@signis-japan.org <http://signis-japan.org/>